

～愛しています 住みよいまち うるま～

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。市民の皆様には、令和6年の輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、皆様のご理解とご協力により、円滑な市政運営を遂行することができましたことに、深く感謝申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、あらゆる行動制限が緩和され、市主催のイベントや各地域・各種団体による行事も数多く開催され、市民生活の明るさと地域経済に賑わいが戻りました。

本市では、豊かな自然環境や歴史的な文化・芸能から生まれる「感動」を未来と世界に届けることができると考え、全国初となる「感動産業特区」を宣言し、「感動」で地域産業を元気にするまちづくりを推進することと致しました。

その第1弾として、8月に「うるま市シテイプロモーション事業」を実施しました。現代版組踊「肝高の阿麻和利」を感動産業特区アンバサダーに認定し、東京公演およびレセプションパーティーを行い、躍動的な踊りや音楽で、約4,300名余の観客に感動を与えました。

また、本市の魅力をもっとPRするため、3自治会の青年会を県外の催事に派遣し、若者が躍動する伝統エイサーの演舞で感動を与えました。今年も引き続き、本市への観光誘客の促進と伝統エイサーの保存継承および地域活動の活性化を図ってまいります。

さらに、市民生活や地域経済に元氣と活力をもたらすことをコンセプトに「がんばろう！地域活動元氣応援事業」並びに「がんばろう！通り会元氣応援事業」を実施し、市民の皆さんが工夫を凝らした独自のイベントが数多く開催され、大いに賑わいました。

令和6年の年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。市民の皆様には、平素より本市の議会活動や市政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

本年も、更なる市民福祉の向上と市政発展のため、全力で職責を全うする所存でございます。

さて、昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症が5月に感染症法上5類へ移行され、市民生活が平穏な日常を取り戻す中、多くの行事やイベントが復活あるいは新規に開催され、飛躍した年でありました。

各自自治会においては、コロナ禍で自粛を余儀なくされていた新公民館落成祝賀会や自治会祭りなどの行事が多く開催されました。また、市の地域活動元氣応援事業補助金を活用した市民団体によるイベントが開催され、賑わいと活気が戻ってきました。

市の取組としては、「うるま市感動産業特区」宣言が打ち出され、「うるま市シテイプロモーション事業」の一環として東京都文京区において現代版組踊「肝高の阿麻和利」公演が実施され大盛況でありました。さらに、「うるま市総合アリーナ（仮称）」整備運営事業や仲嶺・上江洲地区での新たな産業基盤整備事業などに取り組まれており、市政の益々の発展が期待される所です。

市議会においては、3月に、県知事あて「学校給食費無償化の早期実現を求める意見書」を全会一致で議決し、

いに賑わいました。また、ハワイ州マウイ島で大規模な山火事が発生し、歴史的な街が壊滅的な被害となりました。戦後、食糧難で耐え難い状況下にあった沖縄県に、ハワイ州の県出身の有志が本市を経由し「豚」を送った歴史的な経緯の恩恵に、多くの犠牲になられた方の生活再建、復興への災害義援金を贈呈いたしました。

スポーツ関連では、平川慧さん（みどり町コザ高校3年）が全国高等学校総合体育大会陸上男子400Mにおいて全国一となり、県勢初の快挙を達成いたしました。また、比嘉美空さん（字江洲前原高校3年）がブレیکنダンス日本代表としてアジア選手権大会に出場しました。多くの子どもたちに勇気と希望を与えたお二人に、「ジュニアアスリート奨励金」を交付しました。次世代を担う皆様の今後の更なる活躍を期待いたします。

8月に襲来した台風6号は県内全域が二度も暴風域に巻き込まれ、市内では長期間にもおよび停電と断水となり、市民生活に多大な影響をもたらしました。さらに、法面の土砂崩れや道路の損壊・決壊等の甚大な被害が発生しました。これらの被害に対し、市として「大規模停電に関する要請」を沖縄電力株式会社代表取締役社長に手交した他、県選出国会議員に対し「台風第6号の災害被害に関する支援要請」を行いました。

そうした中、昨年に引き続き社会情勢の影響による原材料費、燃料費の高騰、円安などを原因とした生活必需品等の値上げは、市民への生活状況に多大な影響を及ぼしております。国の経済対策による減税や給付金に対し、本市としても迅速に対応し、必要な人に早く支援が届くよう尽力してまいります。

また、市民の安心・安全のまちづくりとして、防災機能を備えた（仮称）うるま市総合アリーナの整備並びに、「物流道路の強化」「救急搬送時間の短縮」「交通渋滞の緩和」「島しょ地域の活性化」が期待される『中部東道路』の早期実現に向け組織体制も強化するなどさらなる発展に向け取り組んでまいります。

今年も本市においては、実施計画を基に計画的かつ効果的なまちづくりを推進し、市民生活の向上と地域経済を進展させ、市政が更に飛躍するために、今年も現場主義で市政運営に邁進いたします。市民のみならずが安心・安全で豊かな生活に資するまちづくりに本市職員が一丸となり「愛しています 住みよいまちうるま」の実現に向け取り組んでまいりますので、引き続き市政に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

子育て支援に地域間格差が生じる事なく、かつ安定した学校給食が受けられるよう、県の制度として学校給食費無償化を早期実現するよう要請いたしました。

スポーツの分野では、美ノ海関が、大相撲で県出身として17年ぶりの幕内力士となりました。また、東京レガシーハーフマラソン車イス女子で優勝した喜納翼選手や陸上競技中距離で高校日本一に輝いた平川慧選手など、多く選手が素晴らしい成績を収めました。今年も多くの選手が活躍し、数々の吉報を届けてくれるものと期待しております。

一方、昨年は、ハワイ・マウイ島山火事災害など大規模自然災害により多くの尊い命と財産が失われました。市議会では、ハワイ県系人による戦後復興支援への恩返しを思いを早急に届けたく、全議員の募金による支援金を現地ハワイへ送金いたしました。一刻も早い復興を願ってやみません。また、世界情勢に目を向けますと、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルによるパレスチナ自治区ガザへの戦闘と、連日、軍事攻撃による痛ましい光景が報道されています。一日も早い戦争の終結、平和的な解決の実現を強く願うばかりであります。

こうした社会情勢の影響による原材料費、燃料費の高騰に伴う生活用品の値上がりにより、私たちの生活は厳しい状況に置かれております。国においては、減税や給付金など新たな経済対策を打ち出しており、これらの迅速な



うるま市長 中村 正人

令和6年 元旦



うるま市議会議員 比嘉 直人

令和6年 元旦